現地点検結果一覧

現地点検結果概要一覧

	検結果概要一覧			立の健全度((下段:変状の種類)			健全度	湿左曲			
番号	橋梁名 (管理区分)	上部構造			下部構造 支承部		その他	(橋単位)	過年度 健全度		所見等	備考
		主桁	横桁	床版			(0)	(1回十二年)	世工/人			
1	瀧見橋	Ⅲ 剥離・鉄筋露出	無 =	Ⅲ 剥離・鉄筋露出	I	無 -	I -	П	I	1	主桁と床版に剥離・鉄筋露出が見られる。構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	
2	神前橋	Ⅲ 剥離・鉄筋露出・遊離石灰		Ⅲ 剥離・鉄筋露出	無 –	無 –	I -	П	п	→	主桁に漏水・遊離石灰が見られる。構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	
3	椿井1号橋	I -	I -	I -	Ⅱ ひびわれ	無 -	無 -	I	I	→	構造物の機能に支障が生じていない状態。	
4	櫟原5号橋	I -	無 -	無 –	I -	無	I -	I	I	\rightarrow	構造物の機能に支障が生じていない状態。	
5		I	無	無 =	I	無	無 =	I	I	→	構造物の機能に支障が生じていない状態。	
6		I	無	無	I -	無	I	I	I	→	構造物の機能に支障が生じていない状態。	
7		I	— 無 —	無	I	— 無 —	無	I	I	→	構造物の機能に支障が生じていない状態。	
8	 櫟原4号橋	I	I -		I -	— 無 —	I	П	П	→	床版に著しい腐食が見られる。構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状 能	
9	奥畑橋	I	— 無 —	無 =	I -	無	- I -	I	I	→	構造物の機能に支障が生じていない状態。	
10	樂原3号橋 機原3号橋	I	I	I		無	無	Ш	Ш	→	下部工に石垣の抜け落ちが見られる。構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。	
11	椿木橋	I	無	無	夏小 II ひびわれ・遊離石灰	— 無	I	I	I	→	構造物の機能に支障が生じていない状態。	
12	櫟原2号橋	I	I -	I	がけ落ち	— 無 —	無 =	Ш	I	1	構造物の機能に支障が生じている、緊急に措置を講ずべき状態。	
13	櫟原1号橋	IV 腐食・亀裂・破断	IV 腐食	IV 腐食	が IV 抜け落ち	無 —	IV 路面の凹凸	IV	IV	→	構造物の機能に支障が生じている、緊急に措置を講ずべき状態。	
14	梨本3号橋	I -	無	Ⅱ 鉄筋露出	無	無	無	I	I	→	構造物の機能に支障が生じていない状態。	
15	平群大橋	II	Ⅲ 漏水・遊離石灰・PC定着部異常	北人月川 記合 LLT II II II II II II II II II	I -	Ⅲ 支承の機能障害	I -	Ш	ш	→	 主桁・横桁・床版に遊離石灰を確認。支承107横に土砂堆積を確認。構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措 置を講ずべき状態である。	
16	協和橋	Ⅲ 漏水·遊離石灰	##	■ 剥離・鉄筋露出	Ⅱ ひびわれ	無 -	I -	п	I	1	主桁の一部に漏水・遊離石灰を確認。下部工に鉄筋露出を確認。構造物の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	
17		II ひびわれ・遊離石灰	Ⅲ 遊離石灰	II 遊離石灰	I	無	I -	п	Ш	↓	主桁の端部にひびわれ、遊離石灰を確認。構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが 望ましい状態。	
18	三里7号橋	I —	近南t41/八 I -	別離・鉄筋露出	I -	無	I -	п	п	→	床板に剥離・鉄筋露出が認められる。構造物の機能に支障が生じていないが、予報保全の観点から措置を講ずることが望ま しい状態。	
19	新椿井橋	I -	I -	I —	Ⅱ ひびわれ	無	I -	п	п	→	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	
20	下垣内橋	II 漏水・遊離石灰	無 =	Ⅲ 漏水・遊離石灰	ひびわれ	無 =	I -	п	п	→	主桁に漏水・遊離石灰が見られる。構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	
21	西向橋	I —	I	漏水・近離石灰 II 漏水・遊離石灰	I	— 無 —	■ II 路面の凹凸	п	п	→	床版に遊離石灰を確認。路面A1, A2側に段差を確認。構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	
22	 椣原大橋	I	Ⅱ 渥水•滋離五匹	漏水・遊離石灰 Ⅲ 漏水・遊離石灰	I Uびわれ・漏水・遊離石灰	無	路面の凹凸 路面の凹凸	п	п	→	下部工 (A1, A2)にひびわれを確認。路面のA1, A2側に段差を確認。構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	

※過年度健全度「-」は受領資料(道路橋様式)なしで確認不可を示す

対象橋梁における各健全度の個数 (左) とそれらが占める割合 (右、単位 %)

健全度			上部				下部構造		支承部		その他		橋単位	
(医主)及	主	桁	横	桁	床	版	יוםף	押坦	又有	A Dh		OIE .	作 ^十	= 177
I	15	68. 2	8	66.7	4	25. 0	11	55. 0	0	0.0	13	81.3	8	36. 4
П	6	27. 3	3	25.0	11	68.8	6	30.0	0	0.0	2	12.5	10	45.5
Ш	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	10.0	1	100.0	0	0.0	3	13.6
IV	1	4. 5	1	8.3	1	6. 3	1	5. 0	0	0.0	1	6.3	1	4.5
合計	22	100.0	12	100.0	16	100.0	20	100.0	1	100.0	16	100.0	22	100.0

<u>橋梁毎点検</u>	結果概	<u>要</u>					橋梁毎占	検結果概要	Ę.					
	橋梁諸元						1X-174 7W.3							
番号 1 —	橋梁名	5.12	瀧見橋	0.00	路線名		北鳴川18号線	番号 2	橋梁名	神前橋		路線名		北櫟原395号線
	橋長(m)	7. 10		2.30 現況写真	構造形式		単純RCT床版		橋長(m)	4.60 幅員(m)	4.10 現況写真	構造形式		単純RC-桁橋-T桁
											TT			
			<u> </u>	要損傷写真							E要損傷写真 /			
主桁	00	ison so	床版	漏水・遊離石	灰 : d			to Y						
橋単位の個			部材単	位の健全度			路下条件		立の健全度		位の健全度			路下条件
	姓王及		部構造	下部構造	支承部	その他	河川	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	びの健主及 	上部構造	下部構造	支承部	その他	河川
П			横桁 床版 無 II	T	無	T	定期点検実施年月日 2020年9月14日	-	II	主桁 横桁 床版 II II	無	無	T	定期点検実施年月日 2020年9月16日
所見	等	主桁と床版に剥	開・鉄筋露出が 講ずることが望	ましい状態。		こ支障が生	じていないが、予防保全の	Ī	所見等	主桁に漏水・遊離石灰が見られ ら措置を講ずることが望ましい	る。構造物の 状態。		 生じていた	
	长河力	1		橋梁諸元	四方 6台 万		去接出015日始		4系河内		橋梁諸元	四分分分	ء الــــ	
	橋梁名 橋長(m)	2.40	椿井1号橋 幅員(m)	1.80	路線名 構造形式		南椿井215号線 単純RC床版	番号 4	橋梁名 橋長(m)	櫟原5号橋 2.30 幅員(m)	1. 60	路線名構造形式	70	櫟原・鳴川19号線 単純石桁
				現況写真							現況写真			
橋単位の代				位の健全度 下部構造 II	支承部	- その他 無	- :- 路下条件 河川 定期点検実施年月日 2020年9月17日	橋単化	立の健全度 I		では、 近の健全度 下部構造 I	支承部無	その他 I	路下条件 河川 定期点検実施年月日 2020年9月14日
所見	等	構造物の機能に	支障が生じてい	•		'		Ī	所見等	構造物の機能に支障が生じてい	ない状態。	, 1	1	









